

DuMA ニュースレター

2025年6月23日

不思議体験ファイル 信じてください！！

上記番組が6月24日(火)の22時からフジテレビ系列で放映されます。副題は「7月5日大災害が!! の噂を科学的に検証!」となっています。これはたつき諒氏の予知夢がその原因なのですが、気象庁長官が否定コメントを出すという騒ぎともなっています。海外(特に東アジア)からの観光客減少(航空便の減便等)という事態を招いています。

DuMA/CSO も上記番組で科学的根拠が無いというコメントをしています。

https://bangumi.org/tv_events/AkUwQglg8AM?overwrite_area=23&pc_yjweb

「7月5日に大地震・大津波が起きる」という予言が科学的根拠に欠ける理由として、

1) 予言の出典が夢や直感に基づいている

→ 科学的手法(観測・分析・検証)を用いた予測ではない

2) 再現性がない

→ 同様の夢や直感による予言で、客観的に「的中」が証明されたケースは存在しない

3) 現在の地震学では日時を特定した予知・予測は不可能

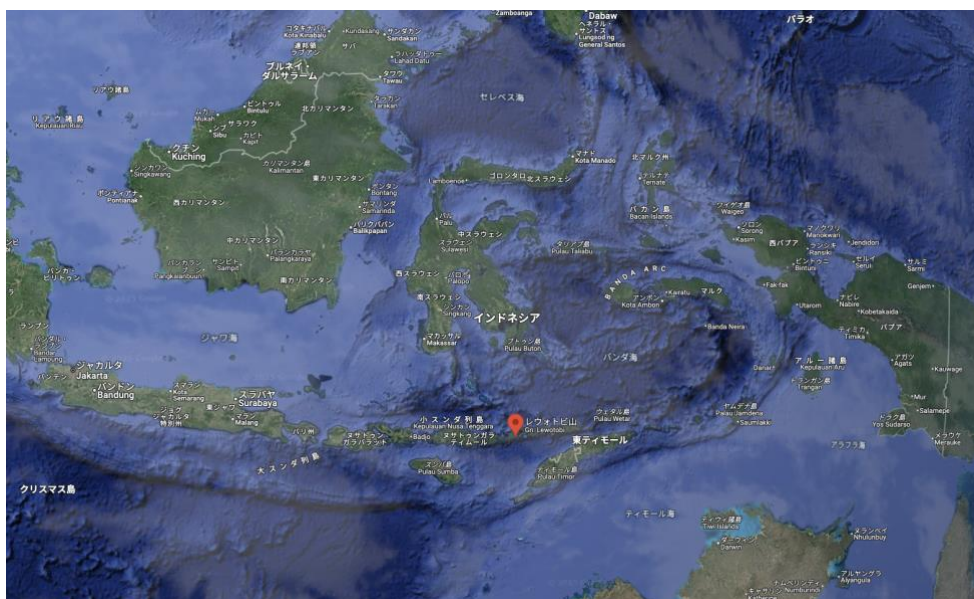
→ もし、多くの異常が集中して発現するというような事があれば、近日中に地震が発生する可能性が極めて高いという事は言えるかと思いますが、今回の予知夢のように、何年も前に特定の日に地震や火山噴火が発生するという予測を行う事は原理的にも不可能です

今回の”事件”は心理的動揺を引き起こすだけの“風評”をメディアが利用したとも考えられます。

インドネシアで巨大噴火

今年3月24日のニュースレターでも紹介しましたが、日本時間の17日午後6時45分ごろインドネシアのレウオトビ火山で大規模な噴火が発生し、噴煙がおよそ1万6000メートルまで上がりました。

インドネシアの火山地質災害対策局はこの噴火の直前に、警戒レベルを最も高いレベルに引き上げ、警戒を呼びかけていました。周辺の航空機の運行に影響が出ているとの事です。



レウオトビ火山の位置



三宅島でも一時火山性地震が急増

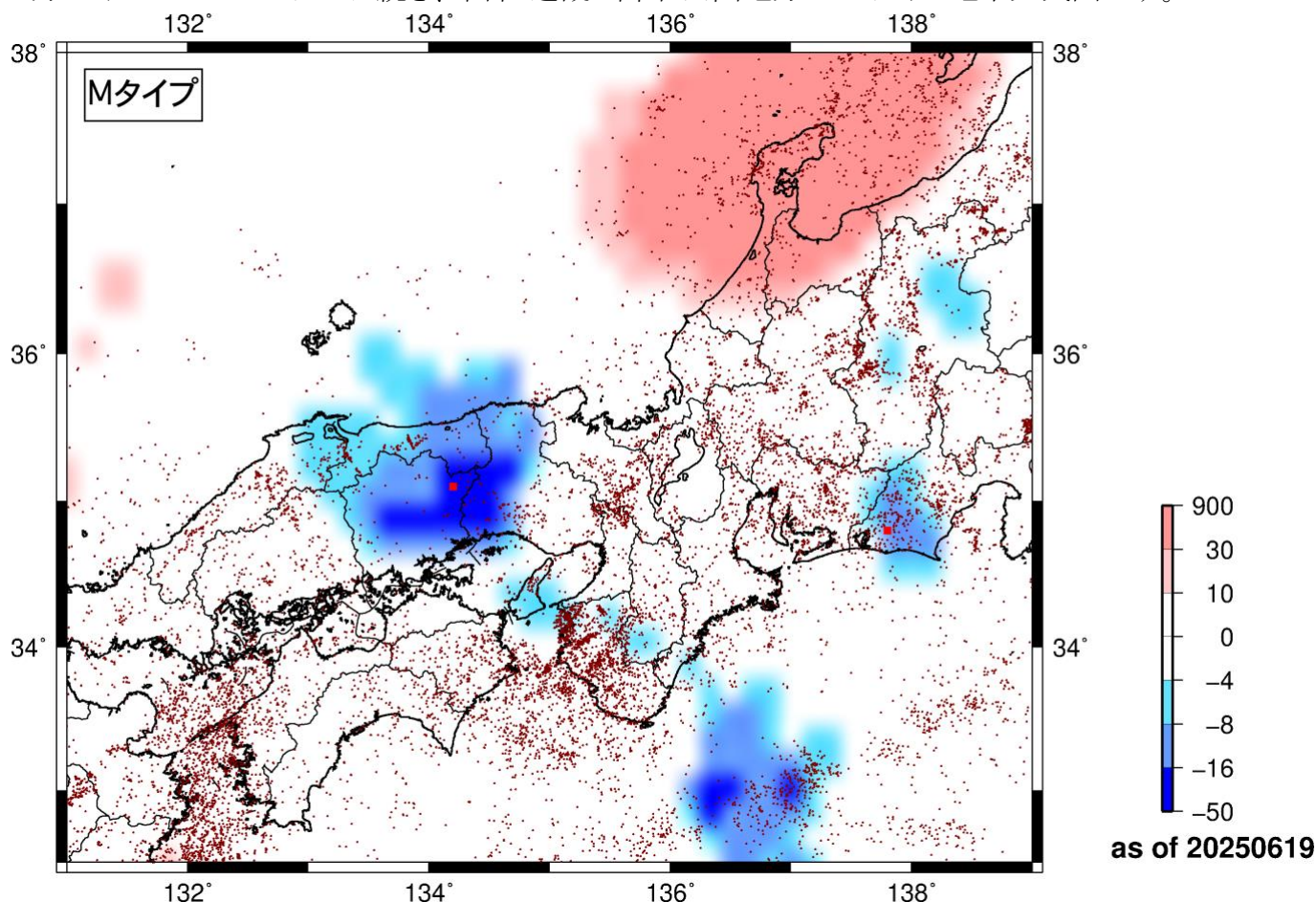
伊豆諸島・三宅島では、6月17日、山頂火口直下を震源とする微小な火山性地震が増加し、一時、山頂方向が上がるような地盤の変動が観測されたため、噴火警戒レベルが2に引き上げられました。

伊豆諸島では以前から「三宅島は20年ごと、伊豆大島の三原山は30年ごとに噴火」という事が言われていました。今回のニュースは三宅島でしたが、実は三原山は1986年11月に大噴火し、全島避難が実施されましたが、それ以降、目立った火山活動は観測されておらず、すでに40年近くが経過しており、次の噴火が心配されています。

それ以外でも鹿児島県の諏訪之瀬島でも6月19日に1400mまで噴煙が上がる噴火が発生したり、霧島連山の新燃岳でも6月13日から火山性微動が観測されるなど、フィリピン海プレートを囲む領域で火山活動が活発化しているのかもしれません。

中部・近畿・中国・四国地方の地下天気図®

5月19日のニュースレターに続き、中部・近畿・中国・四国地方のMタイプ地下天気図です。



中国地方の地震活動静穏化異常はほぼ同じ状況です。紀伊半島沖および静岡県西部の地震活動静穏化も継続しています。

淡路島から和歌山県にかけての静穏化は領域も小さく、Lタイプ地下天気図ではそのような静穏化は認められておらず、深刻なものでは無いと考えています。